

いじめ問題への取り組みにあたっては、校長のリーダーシップのもとに「いじめを許さない」という強い意志を持ち、学校全体で組織的に取り組むことが重要である。そのためには、**未然防止、早期発見、早期対応**はもちろんのこと、実効的な校内組織を充実させるとともに、家庭や地域、関係機関等と連携を密にしながら、社会総がかりで取り組みを推進していくことが大切である。

また、いじめ問題を特定の教職員で抱え込まず、学校が組織的に対応するため、「いじめ対応チーム」を設置し、そのチームを中核として、学校全体の共通理解のもと、総合的ないじめ対策を展開していく。

